

ふくいのかか



福井県生活協同組合連合会

〒910-8557 福井市開発町第2号1番1 (県民生協本部センター内)
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2012年8月10日 No.96

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

役職員学習会「食品の安全に関するリスクコミュニケーション」報告



食品の安全はどのように確保されるか

～食品の放射性物質について～

日時 7月7日(土)

場所 福井県国際交流会館

■ 基調講演 1

「食品中の放射性物質の 新たな基準値と検査体制」

講師：消費者庁消費者安全課
課長補佐 石川 一 氏

石川氏は、「正しい情報を理解し、明日からの消費行動に活かしてほしい」と挨拶された後、『食品と放射能Q&A』の冊子に沿って、放射能の基礎知識や食品中の放射性物質の新たな基準値などについて分かりやすく説明されました。

■ 基調講演 2

「科学的根拠に基づく情報で 食のリスクコミュニケーションを」

講師：消費生活コンサルタント 森田 満樹 氏

森田氏は、リスクコミュニケーションを「リスクに関する問題が起こったときに、市民や行政、専門家、生産者、事業者などが科学的根拠に基づく正確な情報を共有化し、相互に意思疎通を図って歩み寄りながら、合意形成を目指す努力」としたうえで、私たち消費者が科学的情報を食卓でどう向き合っていけばいいか、お話しいただきました。氾濫する情報の中から必要な情報を探し出し、信頼性を評価できる能力を養い、「食べ物情報に食い物にされないで」と話を結ばれました。

■ パネルディスカッション

「食の安全と安心のための情報収集と選択」

コーディネーター：森田 満樹 氏

パネリスト：消費者庁食品表示課 課長補佐 今川 正紀 氏
房総食料センター 副理事長 椎名 二郎 氏
ふくいぐらしの研究所 理事 玉村 七重 氏

基調講演の後、行政・生産者・消費者の立場からそれぞれ意見を出し合い、また会場からも発言を受ける意見交換会を行いました。



今川氏

正しい情報を提供しても、行政の説明だけでは限界がある。今回のように、消費者に近い立場の人の話を聞くと理解も深まる。いろいろな話を沢山聞くと、何が正しい情報なのか見えてくるのではないかな。



玉村氏

消費者も放射能の知識が必要な時代になった。放射能のリスクを「気にする人」になって、正しい情報をチェックしていかなければならない。

生産者の苦勞をもっと見えるようにしてほしい。しっかりとやっている生産者を消費者が買い支えていくことが大事。



椎名氏

福島原発から230km離れているところで、自分たちが被害にあうとは思いませんでした。放射能汚染についてすごく勉強した。

昨年は1260ヶ所の畑の土を全て検査し、費用が120万円かかった。今は毎週3品目選んで検査している。

生産者だけが頑張るのではなく、消費者の皆さんも過度に恐れず、科学的な裏づけによる正確な知識と理解を広げてほしい。

会場から

正しい情報を正しく理解しても、人によって許容できるリスクは違う。自分はどれだけ許容できるかを情報の中から判断することになる。

2012年

会員生協総(代)会議案書

ダイジェスト

福井県
学校生協

第55回 総代会
2012年
6月30日(土) 13:30~
(財)福井県教育センター
4階 大ホール

第55回 通常総代会を
開催しました

平成24年6月30日(土)午後1時30分より、(財)福井県教育センター4階大ホールにて、第55回通常総代会が開催され、当日はお忙しい中、各支部より多数の総代のご出席をいただき、5つの議案が承認されました。

今年度は、総代会にて承認いただきました2012年度基本方針・事業計画に基づき事業を遂行し、組合員の仕事と生活をサポートするライフパートナーを目指すと共に昨年度に引き続き、日生協が後援しております被災地3県の学校へ図書を送る「学校図書館げんきプロジェクト」に参加し、復旧・復興に寄与する事業を行ってまいります。



A bill book digest of consumers' cooperative
A bill book digest of consumers' cooperative

福井
県民生協

第34回 総代会
2012年6月21日(木) 10:00~
県民せいぎょう本部センター

第34回 総代会を開催しました

2011年度の活動報告・決算報告、2012年度の活動方針・事業計画、役員報酬の3議案について、賛成多数で可決承認されました。

2012年度の位置づけ

1. 国際協同組合年を契機に協同組合の原点と未来を展望できる年にします。
2. 第8次中期計画の中間総括を行い、2014年までの後半期プランを作る年にします。
3. 6Sと3現で基本の徹底を磨き、事業と活動のネットワーク利用をさらに前進させ、高い組合員満足度を生み出す組織を作る年にします。

福井県
医療生協

第35回 総代会
2012年6月10日(日) 9:30~
サンドーム福井

「生協」をいのちとくらしに活かし
頼りにされる医療生協を!

福井県医療生協の第35回通常総代会が、6月10日にサンドーム福井小ホールにおいて開催され、「2011年度活動のまとめと事業報告及び決算承認の件」をはじめとする全議案を採択しました。

福井県医療生協は、この一年間、東日本大震災支援に取り組み、ひとり一人の組合員と結びつきを強め「いのちとくらしを守る」まちづくりをめざしてきました。「健康チェック」は開始より840回、1万4千人以上の方が参加され、みなさんの健康不安に寄り添ってきました。本年度は引き続き地域で旺盛に健康チェックに取り組みます。福島事故対策が進まず経済的困難で受診抑制が進行し、相対的貧困率が過去最高を記録しました。格差と貧困がひろがるなかで「地域の絆を守る」医療生協の役割がより一層求められてきました。今年度も地域の中で医療生協の「わ」を広げ、安心して住み続けられるまちづくりをめざします。

班・支部・事業所が、安心を支える地域のよりどころ、「相談窓口」となることを目指します。

また、医療・福祉・介護問題で自治体懇談の先頭に立ち、社会保障を守る取り組みをすすめます。

国際協同年にふさわしく東日本大震災復興支援や消費税、TPP問題に諸団体と共同して取り組みます。



福井
県庁生協

第55回 総代会
2012年6月26日(火) 13:30~
福井県国際交流会館

第55回 総代会を開催しました

小川理事長の開会挨拶の後、福井県安全環境部 県民安全課 藤井課長、福井県生協連合会藤川会長からの祝辞をいただき、各議案について審議を行いました。

2011年度は、様々な商品やサービスを通じ、組合員の暮らし向上にお役立ちできる事業をめざして来ました。しかしながら、職場環境も大きく変わり、店舗来店者の減少、公用品の受注が大きく減少し、店舗供給は縮小を続けています。特に出先店舗の状況は非常に厳しく、現状は出先店舗の存続にも影響しております。また、県の予算縮小のあおりを受けた追録図書の大規模な減少等が響き、いくつかの部門で計画数値を越えられない結果となりました。

このような状況の中でも、『食材のヨシケイ』の利用者は大きく増加し、各職場でのデモを通じてお薦めした『日本トリムの電解還元製水器』も好調で、年間24台の供給がありました。

その他、徹底したコストダウンを行う中、赤字幅は大きく圧縮することができましたが、残念ながら四期連続の赤字決算となってしまいました。

2012年度計画については、まだまだ厳しさが続く予想される中、それぞれの部門の見直し強化を図り役職員一丸となりながら、利用され信頼される生協を追求してまいります。

菅浜生協

第42回 総会
2012年2月11日(土) 10:00~
菅浜農業構造改善センター

「全ての議案が満場一致で可決承認」

平成24年2月11日(土)「第42回通常総会」が開催され、組合員数123名中、出席者99名(委任状17名、書面議決書2名含む)で開催され全ての議案が原案通り可決承認されました。今年度は第40回目の営業年度を終えた当生協ですが、今年度も僅かながら利益を計上することが出来ました。しかしながら、ここ数年組合員の利用額が減少しており、事業外収益で利益の確保をしているのが現状です。

12年度は夏場の海水浴客の減少に伴い、売り上げが落ち込んでいるダイヤ浜の売店を規模の見直しや廃止も含め何らかの対策をとる事としました。又、「当生協の適正な利潤追求のためには組合員一人ひとりに頼る」しかない事を強く訴え、注文販売については関係業者にご協力をお願いし積極的に進めていきたいとしました。今後は営業時間の見直しや、冬場の定休日の設定等効率的な運営を目指していきます。

福井
大学生協

第58回 定例総代会
2012年5月23日(水)
18:10~
総合研究棟1 13階
会議室



第58回 定例総代会を開催しました

総代総数110名中、当日出席70名、書面出席29名、合計99名の参加をいただき2011年度の事業のまとめ、事業報告関連、12年度活動・事業方針を提案し、賛成多数で採決いただきました。また1号議案では「新ビジョンおよび第2次中期計画」を提案し、賛成多数で承認いただきました。新ビジョンは「人と人とのつながりを大切にする福井大学生協」というテーマに基づき、7つのビジョンを設置しました。今後は新ビジョンに沿った第2次中期計画の重点課題について年度計画を設け、着実に実現をしていきたいと考えています。

また、総代会後は食事をとりながら、総代(組合員)交流会を実施し、役職員が参加し店舗事業やその他活動に関する意見交換を実施しました。

今年度はメイン食堂のカフェテリア味菜が耐震工事で半年休業せざるを得ない苦しい年度ではありますが、組合員と協力し事業活動を進めていきます。

福井県
生協連合会

第37回 総会
2012年6月7日(木) 10:00~
(財)福井県教育センター



第37回 通常総代会
を開催しました

福井県教育センターにおいて第37回福井県生活協同組合連合会通常総会を開催しました。

ご来賓として福井県安全環境部 企画幹 鈴木伸和様、日本生協連 関西地連事務局 西浦雅弘様に出席いただきご祝辞をいただきました。

全議案が承認され、今年度方針を決意も新たに活動を開始しました。

全労済新会館を完成し、「創立50周年記念式典 新会館竣工記念・祝賀会」を開催

創立50周年を迎えた福井県労働者共済生活協同組合では、記念事業の一環として全労済福井県本部を福井市日之出1丁目に完成させ、5月14日にホテルフジタ福井において、「創立50周年記念式典 新会館竣工記念・祝賀会」を開催いたしました。新会館は従来の会館敷地内駐車場に設立し、鉄筋コンクリート3階建てで、延べ床面積は836.17㎡となっています。1階窓口には、来客者へのサービスとプライバシーに配慮した個室対応の「お客さま相談室」を新たに設置しました。なお、旧会館については取り壊して駐車場にしました。

記念式典には113名の方々にご出席いただき、坪内理事長は50年の歴史を振り返りながら「今後予想される超規模災害に向けて、態勢強化をはかることが急務であり、全労済として準備をすすめていきます。」と挨拶しました。そして、来賓として出席していただいた福井県知事 西川一誠様、労協会長 馬場修一様、全労済理事長 田原憲次郎様からそれぞれ祝辞をいただいたあと、貢献度の高い協力団体の功労団体表彰を取り行いました。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念とする全労済は、その役割を最大限に果たすべく、さらなる50年に向けて新たなスタートを切りました。今後とも皆さまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



国際協同組合年記念

第16回

Coast Cleaning

海岸クリーンアップ ボランティア募集

① 9月1日(土) 鷹巣海水浴場

② 9月8日(土) 三国サンセットビーチ

※いずれも活動は10時から1時間程度で、終了後はみんなでゴミを分別し、集積します。

お申し込み・お問い合わせは福井県生協連合会まで

協賛 福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会

2012年は国際協同組合年

日本協同組合学会 第32回大会案内

会場：福井県立大学(福井キャンパス) 共通講義棟 L108教室

1日目 9月29日(土)

- 大会シンポジウム 9:30~16:20 *一般参加可 有料
- 記念講演 16:30~17:10 *一般参加 歓迎 無料
テーマ：「国際協同組合年の意義～日本の協同組合の課題と期待」
講師：賀川 督明氏(賀川豊彦記念館館長)

2日目 9月30日(日)

- 地域シンポジウム 13:00~16:30 *一般参加 歓迎 無料
テーマ：「食と農、くらしと地域を守る協同組合
—福井県協同組合の実践—」
コーディネーター：北川 太一氏(福井県立大学)
コメンテーター：根岸 久子氏(JC総研)
- 報告①「漁業体験を通じた地域漁業の振興と漁村活性化」
谷口芳哉氏(美浜町漁業協同組合 総括課長)
- 報告②「間伐材の有効利用を通じた地域林業の振興と組合員とのつながり強化」
高松 武法氏(美山町森林組合 参事)
- 報告③「中山間地と街なかの暮らしを支える買い物弱者支援」
竹生 正人氏(福井県民生活協同組合 理事長)
- 報告④「農産物直売所を核とした食と農を守る活動と女性起業」
森下 耕一氏(福井市農業協同組合 代表理事理事長)

*詳細は、県連事務局にお問い合わせください。

福井県立大学で出前講義

—「食の安全とくらしの安心で、
地域へのお役立ち」テーマに—



福井県では県内の協同組合(農協、生協、漁協、森連)が分担して、福井県立大学の学生を対象に出前講義(各90分)を実施しています。福井県生協連は、去る6月25日(月)に3年生約60人に対して講義を行いました。まず「協同組合って?」「生協って?」の基本知識をおさえた後、生協が組合員のくらしだけでなく地域や社会、地球環境をよりよくするために地域や職場、学校などで事業・活動していることを、パワーポイントで具体的事例を示しながら話をすすめました。

福井県立大学大学院生が福井県内の協同組合を現地視察



去る7月9日(月)、福井県立大学の大学院生(約10名)の協同組合(森林組合—農協直売所—生協店舗・介護福祉施設・子育て支援施設)現地視察が行われました。

生協では、福井県民生協の店舗でのリサイクルステーションや子育て支援施設での食育講座やお父さんひろば、介護福祉施設での取り組みなど、地域の課題に密着した視点での取り組みを中心に説明しました。

弁護士・消費生活アドバイザーによる

『くらしの相談会』を開催します。

無料
予約制

事前予約による個別面談相談(お一人当たり30分程度)です。ささいなことでもお気軽にご相談ください。専門家がアドバイスいたします。

【弁護士による無料法律相談】

時間：10時~16時

日 時	場 所
9月 22日(土)	ハーツ学園
10月 20日(土)	勝山ヘルパーステーション
11月 17日(土)	ハーツつるが
12月 1日(土)	ハーツはるえ

【消費生活アドバイザーによるくらしの相談】

時間：10時~16時

日 時	場 所
8月 25日(土)	大野きらめき
9月 17日(月)	勝山サンプラザ
1月 16日(土)	ハーツ羽水
2月 16日(土)	江守きらめき
3月 16日(土)	ハーツさばえ

お問い合わせ・予約受付 ☎0776-52-0626 (公社)ふくい・くらしの研究所

相談事例

<弁護士への相談なら...>

家族間の問題(相続、親権、後見、離婚など)、契約トラブル、金銭トラブル、借金・多重債務、職場のトラブル(セクハラ、パワハラ)などに関するご相談。

<消費生活アドバイザーへの相談なら...>

衣・食・住全般に関するご相談、年金・ライフプランなどくらしに関するご相談。契約トラブルなどに関するご相談。



主催/福井県生協連合会、(公社)ふくい・くらしの研究所、福井県民生協 後援/福井県

福井県生協連が

第2回いきいき消費者 行政パートナーシップ表彰 受賞

全国消費者団体連絡会より、消費者団体と行政の取組においてパートナーシップ精神を発揮し、地方消費者行政活性化に寄与した団体に贈られる「いきいき消費者行政パートナーシップ表彰」をいただきました(全国で20団体)。福井県生協連は、2011年度より福井県行政が行う出張相談会と連動する形で、「消費者のためのくらしの無料相談会」を、働く人が相談しやすい土曜日に生協の店舗で専門家や他団体の協力を得て実施したことが評価されました。

福井県生協連が表彰を受けられたのも、会員生協の皆様のご支援の賜物と、深く感謝いたします。ありがとうございました。